

平成26年度 職員提案一覧

No.	受理番号	提案名	要約
1	2	日直業務について	現時点では、土日祝祭日の各庁舎日直業務は男女関係なく1名を配置している。警備員もいないので、女性職員が日直業務を行う際は人員を2名にする（2名の場合は、手当の減額若しくは代休扱いにする）ことで、精神的不安を解消する提案。
2	7	FAX送信票・署名の統一	現在、各々が作成した送信票・署名を使用しており、送信票の中に市章やマスコットキャラクターを入れたり、一言PR欄を設ければ、旬の農産物やイベントなどの情報発信ができる提案。
3	8	専門的な知識を有する技師等（有資格者）の配置	専門職で勤務していた有資格者（OB等）を中途採用若しくは臨時職員として雇い、業者から提出された発注工事等の仕様や履行結果を吟味・査定し、工事費・修繕費等インフラ整備関連の予算の適正な運用につながる提案。
4	10	提案制度の通年化	職員がいつでもアイデア（提案）を提出できるようにし、定期的に提案コンテスト等を開催することにより、問題意識や課題意識を常に持つような意識付けを促すことを目的とする提案。
5	13	電話の呼び出し音について	市役所閉庁後、市民が電話をかけてきた際に、「今は閉庁している」旨のメッセージを流して、市民に対して閉庁時間を周知する提案。
6	18	いなしきしっていこうざ	職員アンケートをとり、身に付けたい知識を集計し、上位の業務についてベテラン職員が講師となり講座を実施する。職員の質の向上が図られ、広い視野と柔軟な発想のできる職員の育成ができ、市民サービスが向上する提案。
7	20	星空観望会 with 流星群	市で所有している天体ドームを活用した流星群観測の日を設け、参加者の規制を無くし、誰でも気軽に天体観測ができることにより、市民サービスの向上を図る提案。
8	27	楽しく健康づくりウォーキングポイント	参加者に万歩計を貸与し、歩数分だけポイントを付与。そのポイントにより景品を配付することにより、市民の自主的な健康づくりを支援し、楽しみながら健康な生活習慣を身につける提案。
9	28	稲敷市不妊治療助成事業について	不妊治療助成事業は、茨城県不妊治療助成事業の交付を受けていることが条件の1つだが、年齢制限等や年度内の助成回数制限をなくし、市独自の助成内容にできるようにすれば、不妊治療をしている方の経済的、精神的な負担を軽減できる提案。
10	30	稲敷市の一体化に向けての連絡調整（仮称；横断的職員向上委員会）	委員会を設置し、ヨコの連携強化を図ることにより、業務で問題があった場合、情報を共有しつつ、どのように対処するか等のワークシェアできる環境づくりを推進することを目的とする提案。